

「鹿児島東高等学校のせばる隼人舞伝承活動の取組」

1 学校名

鹿児島県立 鹿児島東高等学校

2 学年・人数

3年生（4人）

2年生（3人）

1年生（2人） 合計（9人）

3 日時・場所

（1）練習の日時・場所

令和元年 9月30日（16：00～本校体育館）

10月 1日，15日，16日，20日（16：00～本校体育館）

11月19日（16：00～本校体育館）

（2）発表の日時・場所

令和元年10月26日（土）14：00～文化の祭典（石橋記念公園）

11月23日（土）10：00～せばる隼人舞祭り（坂元台小学校）

4 伝承・活用に取り組んでいる伝統芸能，伝統行事について

（1）名称

せばる隼人舞（せばるはやとまい）

（2）由来

約1500年前隼人族が，坂元町「おとん山」を拠点として，神を迎え「歌」や「舞」を奉納していた。それから200年後隼人族は，大和朝廷の意に逆らい派遣された部隊に，征服され楽器等の没収や隼人を残らず奈良に連行され朝廷の祭に従事させられた。以来おとん山での「歌」や「舞」が途絶え見られなくなったと，云い伝えられていた。

昭和61年坂元台校区の活性化をきっかけとし，当時のせばる隼人舞を再現した。

（3）構成等

①神招の舞（神様を招く） ②弓の舞（狩猟の豊かさを祈る）

③松明の舞（火を敬い神々に感謝の意を表す） ④猿女の舞（邪を払う）

⑤杵舞（五穀豊穰の祈り） ⑥十二剣舞（魔除け）

⑦せばる隼人舞い（平穏無事の祈願と自己の鼓舞） ⑧序の舞（会場を祓い清める）

※ 元来この舞には「お祓いの舞」「振剣の舞」などがあるが，保存会は上記①～⑧を伝承している。本校はこの中の①神招の舞と⑧序の舞を担当している。

舞い一つ一つの踊りは異なり，竹・小・大太鼓・笛を使用し，場面を楽曲でも表現している。

5 保存会や地域との連帯の具体

地域の「せばる隼人舞保存会」の全面的な支援のもと，本校に「せばる隼人舞同好会」を発足させた。同好会顧問が，打合せ会に参加し，保存会の方と練習日程等の計画を検討している。その後，保存会の方が来校され，同好会生徒に，実技指導している。本校

ではこのようにして、同好会生徒を中心に、地域と連携した伝統芸能の継承活動に貢献している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携・協力しながら、せばる隼人舞を継承していくために、本校ダンス部を中心に熱意のある生徒を募集して「せばる隼人舞同好会」を結成している。また、本校は国際交流も盛んであり、海外から来た高校生との交流の機会に、日本文化のひとつとして披露している。地域のイベントにも参加し、披露する機会がある。

7 取組の様子



【文化の祭典】（石橋記念公園）



【せばる隼人舞祭り】（坂元台小学校）

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想意見

(1) 生徒の感想

- ・ 地域の方や先輩に教えてもらい完璧に演舞することができた。
- ・ 大勢の地域の方々の前で披露し、緊張したが良い経験になった。

(2) 教職員の感想

保存会の方から、せばる隼人舞の由来を聞いたり、仲間同士で教え合ったりする中、伝統行事に携わることで、地域への愛着を感じている様子であった。毎年であるが生徒たちは、熱心に練習に取り組み、本番では十分に練習の成果を発揮している。